掛川市教育委員会定例会議事録

会 議 名	令和４年９月掛川市教育委員会定例会			
場　　所	掛川市役所南館　会議室			
開催日時	令和４年９月27日（火）　午前10時00分から午前11時26分まで			
出 席 者	教育長	佐藤嘉晃	教育部長	山梨　実
	教育長職務代理者	戸塚忠治	こども希望部長	原田陽一
	委員	岩尾千佳子	教育政策課長	尾崎和宏
	委員	橋山鈴代	こども給食課長	鈴木英雄
	委員	馨　敏郎	学校教育課長	柳瀬昭夫
			図書館長	後藤晶子
			教育部政策官	鈴木知子
			教育政策課主幹兼教育政策係長	水谷忠史
			教育政策課教育政策係指導主事	太田浩徳
			教育政策課教育政策係指導主事	沢田佳史

１　報告事項

(1)　学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会の報告について　（教育政策課）
(2)　制服のあり方検討事業について（９月報告）　（教育政策課）
(3)　部活動地域展開推進事業について（９月報告）　（教育政策課）
(4)　令和４年度「我が家の“宝もの”～変わるものと変わらないもの～」審査結果について　（教育政策課）
(5)　掛川市学校ネットパトロールの結果報告（８月）　（教育政策課）
(6)　９月の給食まんてん便り及び献立表について　（こども給食課）
(7)　掛川市内小中学校のあらわれについて　（学校教育課）
(8)　全国学力・学習状況調査のＣＢＴ化に向けた令和４年度試行・検証について　（学校教育課）
(9)　図書館だよりについて　（図書館）
(10)　えほんむすびについて　（図書館）

１　開　会

教育長：教育委員会９月定例会を開会します。

２　教育委員会８月定例会議事録の承認について

意見はなく、承認された。

３　事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

４　報告事項

(1) 学校再編計画の策定に向けた市民意見交換会の報告について
教育政策課長から報告資料１のとおり報告があった。

委員：学校に対する関心についてですが、30、40年前は学齢期の子どもたちが全世帯の半分、50％くらいいましたが、今は20％、私の地域だとこども園、小学生、中学生のいる家が

10件に一人になっています。そうなると当然お金の使い方も子どもたちよりも高齢者の使い方になっていくでしょうし、それは国も県も市も一緒です。特に大人の関心が、子どもたちにないというのが、当然のことになってきているので、それをうまく伝えていくのが、非常に難しいことであるような感じがします。私も３箇所参加させてもらって、関心を持っている人たちは、それなりに地元のことに関心を持っています。持っていないと言うと申し訳ないですが、今までの情報が過去のもので、そこから発言があったりするので、そこをどうしていくのか。前回も重層的に、いろいろな方向で知らせていくのがいいのではないかと意見を言いましたが、市民全体が子どもの学校教育をどうするかということに関心を持ってもらうことがなかなか難しいことです。しかしながら、そこを何とか努力して、いろいろな情報を伝えていかなければいけないと感じました。

委員：１回、２回ではきっと参加した人の気持ちの整理がつかないし、結局10年とか先の話なので実感もないのではないでしょうか。このような対話的意見交換会を通して、思っていることを繰り返し聞いていくしかないのではと思いました。私は西中学区ですが、必要性を感じない人がいらして、どちらにしても人数が多すぎて一貫校は無理なのではないでしょうか。急に学校が小中一貫校と言われても、どういう感じで、どこに建てるかが先になってしまいます。広報とかで、何年か後にはこうなっていきますというような特集はないのでしょうか。

教育政策課長：広報で生の情報を出したことはありません。市のホームページの中で、去年のかけがわ教育の日用に作った映像で、先生が教えながら板書をするという授業ではなくて、子どもたちがワークショップ形式というか完全に新しいやり方で授業をしているので、子どもの人数が少なくなっていくと、このやり方も制限されるのではないでしょうかという出し方をしています。なかなか見てもらえません。関心のある方には見てもらえるのですが、それ以外の方はそのままになってしまうので、なかなか難しいと思います。ただ、ある地区ではかなり強く反対されるのではないかと思ったのですが、実際に地元の中で話し合われた時に、保護者から強く「このままではいろいろと課題がある、将来のことを考えないといけない」と言っていたのが印象的でした。かなり強く出られていた区の役員も、その意見を理解しながら聞いていました。やはり切迫している所は、すごく真剣に保護者も区の方も捉えてくれています。より身近にと言いますか、そこに迫っている危機をわかるように伝えていかなければいけないと思いました。倉真や原田もかなり一生懸命に複式学級の発生をどうやったら回避できるかを考えています。そこのところはしっかり受け取っていかなければいけないと思っています。

委員：子どもの人数が少な過ぎると、保護者としてはこの先どうなるかと心配があります。

教育長：今後のスケジュールについては、今詰めているところですが、保護者の意見をしっかり聞いてほしいということがありました。それはごもっともなことで、しっかり聞きながら、またその結果を基に各地域へ入っていければと思っています。その入り方はいろいろあるかとは思いますが、現在検討しております。まだ、「学校は地域の太陽だ」と強く言われている地域もありましたので、地域によっても、年代層によっても温度差があると感じました。

委員：東中学区に出席した時に、こども園とか、小中のＰＴＡ代表の若いお父さん、お母さんたちと会いました。今日は何を理解したらいいとか、自分が情報を受けてみんなに伝える役なのかとか、わからないままでいるようでした。進行のファシリテーターを含めて全体的に良かったので、当日の満足感はあったと思います。会場に来てくださった若い保護者代表の方たちへ、主催者側から「意見交換会に来てくれてありがとうございます」という思いが何かしらの形で届くと、より前向きな関心を持ってくれるのではないかと思います。

(2) 制服のあり方検討事業について（９月報告）

教育政策課長から報告資料２のとおり報告があった。

教育長：今のところ順調に進んでいます。コロナの関係で材料が値上げされたり、物が入ら

ないといった心配が今後もあります。できる限り事務局としては早めの対応で、令和６年度に間に合わせる方向でおります。

委員：子どもたちが着ている様子を、動画にはならないでしょうか。

教育政策課長：了承を得られれば、試着会のような形で、その様子を撮影したらどうでしょうか。カメラを固定して、着ている様子をカメラの前で回ってもらって撮影すれば、イメージが湧くと思います。今年度から広報監が着任したので、相談を掛けたらそういった話もありました。できるだけイメージしやすいような形、同じ学生が着ているとかなり肯定的に捉えられやすいこともありますので、そのことも含めて考えていきたいと思います。

委員：「子どもが喜んでくれれば、それでいい」と考えている保護者の方は多いと思います。子どもさんたちにそういう気持ちが生まれればいいと思いますので、丁寧にお話しを進めていただければと思います。

教育長：広報で募れば、試着して出たいという子がいるかもしれません。

教育政策課長：そうすれば、恐らく支障なくいけると思います。

委員：着心地については、何人かに着てもらって、意見を聞くのがあってもいいと思いました。

委員：切り替わるまでの期間が短いので、１年はあっと言う間です。意見を聞くのはいいと思います。

教育政策課指導主事：１月から３月にマスターメーカーが決まって、そのメーカーの協力が得られれば、サンプルを出してもらって、子どもたちに着てもらい、感想を聞きながら、デザイン投票に挙げるデザインを絞っていきたいと思っています。しかしながら１月から３月は、メーカーも忙しいということで、どこまで協力を得られるかというところです。メーカーにはまた相談してみようと思います。できるだけ子どもの声を拾って、着心地や色や柄も、そのうえでデザイン投票に向かうといいと思っています。

委員：盛り上がりそうです。

教育政策課長：学校再編もそうですが、子どもがこうだと言うことが最大の意見になると思います。

委員：オリンピックの時も子どもたちはマスコットの投票ができました。子どもたちは、家でもその話題をずっとしていました。

委員：スカートの丈とかも全部決めるのですか。

教育政策課指導主事：着こなしガイドラインを来年度中に作ろうと思っていますが、その辺りも子どもたちの意見をある程度聞きつつ、あまり丈が短くなってしまうと学校も苦しいところがありますので、教員の意見も聞きながら作成することになると思います。

教育政策課長：どうしても、同じ・共通化するというと、この前の新聞報道もそうだったのですが、すごく固いイメージに捉えられがちです。子どもたちが楽しく着ているとか、着こなせるというイメージを持ってもらった方が、今後の展開としてはいいのではないかと思います。そういったイメージづくりに努力していこうと思います。

教育長：裾野市の報道が出ていましたが、子どもたちがお試しで着る機会があったのでしょうか。

教育政策課指導主事:試着する機会があったそうです。写真には４人くらいが出ていました。

(3) 部活動地域展開推進事業について（９月報告）

教育政策課長から報告資料３のとおり報告があった。

教育長:資料４番のエアロビクスのＢＬＵＥＷＥＡＶＥが、さんりーなで活動しているので、先日の市民スポーツ交流フェスティバルの時にダンスを見せてもらいました。大変すばらしかったです。部員のうち１名は全国大会に出るような子がいるとのことで、すごいなと思って見ていました。このような活動を多くの方々に見てもらい、子どもさんや親御さんが素晴らしいと思って、地域部活に入ってくれるようになればいいなと思いました。今度の10月２日にも掛川文化クラブが生涯学習センターで成果発表会を行いますの

で、委員のみなさんも御覧いただければと思います。今後も発表会や成果を見られる機会がありますか。

教育政策課指導主事：掛川文化クラブは、11月に吹奏楽交流会ということで、市内の吹奏楽部と交流会があります。それ以外には、常時活動をいつでも見に来ていいと言ってくれていますので、資料に掲載されている活動日に行っていただければと思います。

委員：要望かもしれませんが、バドミントンは中学生にとって人気ということで、二つの団体を登録していますが、他のクラブを含めて活動場所を見ると旧掛川市内の方が多くなっています。同じ種目であれば、団体がどこで活動したいかは市として強制はできないと思いますが、一つくらい南部のしーすぽとか大浜中学校の体育館で活動してくる団体が出てくればありがたいと思います。

委員：人数が増えてきたら、南部北部両方でできたりするのでしょうか。

教育政策課長：あとは棲み分けとかもあると思います。基本的には指導者がどこにいて、活動しやすい場所があれば、そこを拠点としています。現在、募集をかけたけれども、活動場所が遠いことだけの問題なのか、集まらないというのが南部の状況であります。市の中のバランスも考えながらうまく進めていきたいと思っています。

委員：この一覧表は保護者にも渡しているのでしょうか。

教育政策課長：公認された団体は、チラシを学校へ配布します。

教育長：ホームページにも出ていますか。

教育政策課指導主事：最新版をホームページでアップしています。定期的にＵＲＬを保護者にメールで送って見ていただくようにしています。

委員：中学校に入ってから部活を考えていましたが、こういうのがあれば事前に入れます。

教育長：広報をしっかり行いながら進めていきたいと思います。

(4) 令和４年度「我が家の“宝もの”～変わるものと変わらないもの～」審査結果について
教育政策課長から報告資料４のとおり報告があった。

(5) 掛川市学校ネットパトロールの結果報告（８月）
教育政策課長から報告資料５のとおり報告があった。

教育長：こういった情報リテラシーは、各学校でもいろいろな取り組みをしています。ダブレットを授業で使っているので、市教委としても心と体、特に目の健康について、学校保健委員会養教部の先生方と相談し、対応していきたいと考えています。

(6) ９月の給食まんてん便り及び献立表について
こども給食課長から報告資料６のとおり報告があった。

(7) 掛川市内小中学校のあらわれについて
学校教育課長から報告資料７のとおり報告があった。

(8) 全国学力・学習状況調査のＣＢＴ化に向けた令和４年度試行・検証について
学校教育課長から報告資料８のとおり報告があった。

委員：これだけオンラインが進んでくると、今会社に勤めている人もリモートで家で仕事をしていて、いずれ学校もそうなって、学校がいらなくなるのではないでしょうか。

学校教育課長：パソコン上でのやり取りは、30何人いると、画面上の会話にうまく入っていける子と、ただ黙って見る子だけになってしまいます。あくまでもオンライン授業は、お休みする子の臨時用として考えています。やはり人と人とのつながりとか、コミュニケーション能力は対面の中で育っていくものです。学校は学力保障と同時に、社会性を育てるのがとても大事なので､全部をオンラインでやることは全く考えていませんので、そういうことにはならないと思います。

委員：今すでにコミュニケーション能力は劣っています。20何歳という若い人たちは。これからそれが加速してくるのではないでしょうか。会話がいらない。面接をやって、何かを問いかけてもうなずくだけで済ませてしまう大学生。実際に数回目にしています。

学校教育課長：市内の小中学校では、コミュニケーション能力の育成を大事に掲げている学校がほとんどです。言ってはいけないことを言ったり、言わなければいけないことを言わなかったりして、そういった些細なことで人間関係がこじれたり、そういうところの修復をするためにどう関わればいいかがうまくできない子が多くなっています。

委員：人との距離感とかを学んでくる機会がなかったのかと思います。どんどん加速するような心配を持ちます。

学校教育課長：私も現場にいたころ子どもに、「先生、昨日何々ちゃんに悪いことをして怒らせてしまったけど、どうすればいいですか」と相談を受けたことがあって、「そういう時には、ごめんねって言うんだよ」と教えてあげたことがあるのですが、そういうことも教えてあげないといけないのかと、自分たちで問題を解決することが苦手な子が増えてきている感じがします。

委員：今までだったら自然と身についたものが、身についていかない時代になってきているのかと思います。

学校教育課長：必要な時にきちんとできるかどうかが大事だと思います。しっかりと関わらなければいけない、こうしなければいけない、それこそ面接という時には、きちんと自分の良さをアピール、ＰＲできる力は必要です。

委員：このテストについては、時代がそういう時代になっています。ＯＥＣＤの学習到達度調査やＴＩＭＳＳも、このコンピューターを使ったテストになっています。科学オリンピックの一部もそうです。こういったコンピューターを使ったテストに慣れていくことが必要です。ＯＥＣＤの中でもランクが下がっているというのは、日本の子どもたちがまだコンピューターを充分使いこなせていないことがあるので、このようなことは必要だと思います。やがて大学入試もコンピューター対応になっていきます。授業でダブレットを使うのと、テストとは別問題であって、授業の中ではタブレットを使いながら、便乗で人との会話を大事にしていきますが、テストの時の使い方に慣れていくのは大事なことだと思います。

教育長：来年度は英語だけタブレットを使って実際に調査します。再来年度本格的に３教科調査するということです。先ほど課長から説明があったように、不具合がいくつかあるということです。県内では掛川市だけが試行していて、他の市町はこの調査を行っていないという状況です。掛川市は進んでいる方だと思いますが、その自治体ですらこういう不具合が出ているということは、他の自治体もかなり出てくるだろうと思います。その状況で全国学力調査が本当に実施できるのか不安を感じたところです。またきちんとできる状況を整備していきたいと思っています。そのための試行ということで捉えています。

(9) 図書館だよりについて
図書館長から報告資料９のとおり報告があった。

(10) えほんむすびについて
図書館長から報告資料10のとおり報告があった。

５　その他

(1) 次回以降教育委員会定例会の日程について

ア　教育委員会10月定例会
令和４年10月26日（水）　午後１時30分
掛川市役所南館　会議室

イ　教育委員会11月定例会
令和４年11月29日（火）　午前10時
掛川市役所南館　会議室

(2) その他の予定について

ア　県外視察
日　程：令和４年10月12日（水）～13日（木）
テーマ：小中一貫教育
視察先：京都市立大原小中学校（大原学院）　義務教育学校
京都市都心部小学校跡地活用（旧３小学校）

イ　総合教育会議（第１回）
日　時：令和４年10月26日（水）　午後３時
場　所：掛川市役所南館　会議室
テーマ：検討中

ウ　かけがわ教育の日
日　時：令和４年11月19日（土）　午前９時
場　所：掛川市生涯学習センター
テーマ：創ろう！私たちのミライ～変わるものと変わらないもの～Vol.1

エ　園・学校訪問
令和４年10月４日（火）　第二小学校　橋山委員
10月21日（金）　さかがわ幼稚園　橋山委員
10月26日（水）　土方・中幼稚園　馨委員
10月31日（月）　子育てセンターひだまり　戸塚委員、橋山委員

６　閉　会

教育長：教育委員会９月定例会を閉会します。

署　名

以上について、掛川市教育委員会会議規則第16条第３項の規定により署名する。

令和４年10月26日

教　　育　　長

教育長職務代理者

教　育　委　員

教　育　委　員

教　育　委　員

教　育　部　長